

(別紙4(2))

事業所名 アメニティホーム塩釜

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 9月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	もう少し利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流していきたい	町内会、近隣の学校や施設とつながりを深めて顔なじみの関係作りを目指す	地域の方々に施設でのイベントなど参加してもらい知ってもらう 地域のコミュニティや催しに参加しコミュニケーションを図っていく	12ヶ月
2	13	コロナの影響でなかなか研修などに参加できなかったり、中止になったりしているので職員のキャリアアップをもっと遂行していきたい	研修以外でも本やネットなどでも勉強の材料があるので、情報を提供して職員・パート全員のレベルアップを目指す	施設に関連する機関やケアマネなどいろいろな分野で情報を得たり、職員同士でも良い情報が共有できるように環境を作っていく	6ヶ月
3	20	コロナ禍において面会やお出かけが出来なかったため少しずつ馴染の人や場所との関係を取り戻したい	面会や外出が出来ようになったらご家族や馴染の人と交流をたくさんできるようにしていく	日ごろから馴染の人との連絡を絶やさずにして、心身体的にも健康で過ごしいつでも遂行できるように準備しておく	6ヶ月
4	35	毎年同じ課題ですが災害のニュースなどを見ていると実際現実になったときに落ち着いて対応できないのではないかと心配になる	知識や訓練を身に付け焦らず適切な対処が出来るようになる	様々な災害やハプニングを想定した研修などを取り入れ勉強や訓練を定期的に行う	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。